

基本課題8 家庭生活と職業生活その他の社会における活動の両立の支援(課題17~19)

課題17 仕事と家庭・地域生活の両立支援と働き方の見直し

No	施策	事業名	担当課等	実施計画内容	実施状況	問題点、課題等	担当課 評価	市民窓口課所見	H22年度の審議会における意見・評価	
36	事業所における 育児・介護休業 制度の普及啓発	広報・啓発活動	商工課	新潟労働局の育児・介護休業制度の情報を提供するため、ホームページをリンクさせる。	新潟労働局の育児・介護休業制度の情報を提供するため、ホームページをリンクさせた。 また、広報さんじょう11月1日号に改正育児・介護休業法について掲載し、周知を行った。	【評価理由】 計画通り実施した	A			A
		ワーク・ライフ・バランス講座の実施		(財)21世紀職業財団新潟事務所及び燕市と共催で働きやすい職場環境づくりや両立支援助成金制度についての研修を実施する。 【工夫すること】 講座開催を広く周知するため、各団体と協力する。 【目標値】 参加人数30名	「ワーク・ライフ・バランス講座の実施」 平成22年11月11日に(財)21世紀職業財団・燕市と共催でワーク・ライフ・バランス講座を実施し、就労支援を行うとともに、パートタイマー均等待遇助成金制度等について周知する。 参加者 22名	【問題点・課題等】 平成23年9月末を持って、(財)21世紀職業財団地方事務所(新潟事務所)が閉鎖するため、本セミナーの開催予定もなし。	B			B
労働時間短縮 についての情報 提供・啓発	ワーク・ライフ・バランス講座の実施	施策No.36に同じ。		施策No.36に同じ。			B			B
38	ファミリー・フレンドリー企業の普及啓発	情報の提供	商工課	仕事と育児・介護とを両立している企業についての情報を収集し、ホームページに掲載する。	仕事と育児・介護とを両立しているファミリー・フレンド企業についての情報をホームページでリンクし、情報提供を行った。	【評価理由】 計画通り実施した	A			A
		ワーク・ライフ・バランス講座の実施		施策No.36と同じ	施策No.36に同じ。			B		

課題18 子育て支援の充実

No	施策	事業名	担当課等	実施計画内容	実施状況	問題点、課題等	担当課 評価	市民窓口課所見	H22年度の審議会における意見・評価	
39	子育て支援サービス及び保育サービスの充実	【変更あり】 多様なニーズに応じた保育サービスの充実	子育て支援課	<p>【変更あり】 平成23年度に開設予定である市内7か所目となる子育て支援センターを保内保育所に併設し、一時保育を実施する予定である。 また、福多保育所と大和保育所を統合した保育所を来年度開設予定</p> <p>【目標値】設定不可</p>	保内保育所子育て支援センター及び乳児保育を拡充した栄中央保育所を建設し、4月開設した。	【評価理由】 計画通り実施した	A			A
40	保育ルーム設置時のヘルパーの養成	ファミリーサポート支援事業提供 会員養成講座	子育て支援課	<p>【実施時期】10月 【実施内容】民間団体において子どもを預かる方の資質向上を図るため、提供会員を養成するための講座を実施するもの。 既会員のスキルアップ研修と兼ねて実施する。 【工夫すること】 内容も講義だけでなく、事例研究を交えるなど考える場面を多くし、より実践に則したものとなるよう努める。 【目標値】 受講者の団体登録率:80%</p>	<p>【変更あり】 1月13日～2月17日まで全6回実施 新規会員養成のみならず、既会員等の研修も兼ねて講座を実施。 参加人数:45人(男0%、女100%) 受講者の団体登録率:33.3%</p>	<p>【評価理由】 目標値を達成できなかったため 目標値の結果: 33.3%</p> <p>【問題点・課題等】 ・男性の参加者をどのようにして増やすか ・目標値の設定</p>	C			C

41	子育てに関する学習機会の提供	エンジョイパパママ教室第1コース	子育て支援課	<p><b>【実施時期】</b>隔月1回ずつ</p> <p><b>【実施対象】</b>エンジョイパパママ教室第1コース:妊娠16～23週の妊婦と夫</p> <p><b>【内容】</b> 土曜日の午前中に開催。夫婦を対象 ・保健師による講話 ・グループワーク(仲間作り) ・実習 ・管理栄養士による講話</p> <p><b>【工夫すること】</b> 妊娠中からの子育て支援と子育て仲間を作れるように教室構成を講師とともに検討。保育ルームを設置(経妊婦も参加しやすいように)</p> <p><b>【目標値】</b> 受講率:H21年度の受講率より5%増加</p>	エンジョイパパママ教室第1コース:参加88組、参加率13.1%(H21年度17.7%) 参加76組、参加率14.1%(H21年度17.7%)	<p><b>【評価理由】</b> 各コースとも目標値の参加率+5%は達成できなかったが、アンケートの結果参加者の満足度が高かったため。</p> <p><b>【問題点・課題等】</b> 夫婦それぞれにアンケートを取り、参加者のニーズに合わせた内容に充実させていく。</p>	B			B
		エンジョイパパママ教室第2コース		<p><b>【実施時期】</b>隔月1回ずつ</p> <p><b>【実施対象】</b>エンジョイパパママ教室第2コース:妊娠24～31週の妊婦と夫</p> <p><b>【内容】</b>エンジョイパパママ教室第2コース 平日の夜に開催。夫婦を対象 ・家庭教育について外部講師による講話 ・保健師による手続き等の情報提供</p> <p><b>【工夫すること】</b> 妊娠中からの子育て支援と子育て仲間を作れるように教室構成を講師とともに検討。保育ルームを設置(経妊婦も参加しやすいように)</p> <p><b>【目標値】</b> 受講率:H21年度の受講率より5%増加</p>	エンジョイパパママ教室第2コース:参加91組、参加率12.1%(H21年度14.1%)降雪が多く冬場に参加者が減少した。初産夫婦の受講率は各コースとも22%、21.2%と高い。アンケートの結果、外部講師による家庭教育の講話は参加者に好評である。 参加84組、参加率13.2%(H21年度14.1%)	<p><b>【評価理由】</b> 各コースとも目標値の参加率+5%は達成できなかったが、アンケートの結果参加者の満足度が高かったため。</p> <p><b>【問題点・課題等】</b> 夫婦それぞれにアンケートを取り、参加者のニーズに合わせた内容に充実させていく。</p>	B			B

41	子育てに関する学習機会の提供	育児講座	子育て支援課	<p>市内6か所の保育所・保育園の子育て支援センター、すまいるランドにおいて、子育てに関する知識・情報の提供等のための育児講座を実施する。</p> <p><b>【工夫すること】</b> 男女共同参画の視点を持ちつつ、家庭で実践できる内容を盛り込むよう努める。</p> <p><b>【目標値】</b> 育児講座年6回以上開催</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各施設、概ね1か月に1回程度育児講座を開催している。</li> <li>参加者数は、各回30名程度の参加を得ている。</li> <li>内容として、栄養相談、救急法、親子エアロビクス、健康体操など多岐に渡っており、子育て中の保護者への知識、情報の普及に努めている。</li> </ul>	<b>【評価理由】</b> 市内6か所の子育て支援センターで、年6回以上育児講座を実施した	A			A
	子育てに関する学習機会の提供	しみん食育と農業のつどい	健康づくり課	<p><b>【実施時期】</b>12月5日(日) 予定</p> <p><b>【内容】</b>講演会、米の食味コンテストを予定 ※これまでの事業を三条まんなま塾(食と農の連携協議会)へ委託実施</p> <p><b>【工夫すること】</b> 男女年齢問わず参加しやすいように、試食などを取り入れるなど内容を工夫する。</p> <p><b>【目標値】</b> 参加者へのアンケートにおいて、「参加して気づきがあった」と回答する者の割合が80%以上</p>	<p>三条まんなま塾主管で実施した。</p> <p>基調講演、パネルディスカッション、キャラクターコンテスト表彰式 試食提供、新米3合をプレゼント ※保育ルーム設置</p>	<b>【評価理由】</b> 「参加して気づきがあった」と回答した者は76.5%であり、目標まで達しなかった。参加者数は500人と多くの市民が関心をもっていることがうかがえたが、女性の割合が高い状況であった。	A			<b>【問題点・課題等】</b> 子育て世代の保護者等が参加しやすい内容を検討していく。

	子育てに関する学習の機会の提供・男女共同参画意識を高める家庭教育の推進	家庭教育講座	生涯学習課 (中央公民館)	<p>家庭教育支援事業として、シリーズ性のある講座やより深く学びたい方を対象とした講座を開催。</p> <p><b>【工夫すること】</b> 参加しやすいよう、開催日・時間(土曜日・夜間)などを工夫する。</p> <p><b>【目標値】</b> アンケートでの満足度「とてもよかった」・「よかった」の回答が7割以上</p>	<p><b>【変更あり】</b> 子育て対象者を区分せず、「家庭教育講座」と「笑顔で子育て講座」を統合。内容についても、家庭と子どもについているんな角度から情報提供し学んでもらう企画とした。また、開催日程を土曜(午後)とした。</p> <p>(1)1/22 講話「旅館経営と私の子育て」参加者40人(うち男性12人)</p> <p>(2)2/19 パネルディスカッション 参加者33人(うち男性6人)</p>	<p><b>【評価理由】</b> アンケートによる満足度は1回目が87.8%、2回目が90.0%であり、目標値を上回った。また、参加者の2～3割が男性であった。</p> <p><b>【問題点・課題等】</b> 家庭教育に対する市民の要望を今後も分析し、関心を持って、ニーズにあったテーマの設定、公民館事業としての役割を明確化した事業内容に努める。</p>	A			A
41	子育てに関する学習の機会の提供・男女共同参画意識を高める家庭教育の推進	家庭教育講座 「笑顔で子育て」	生涯学習課 (中央公民館)	<p><b>【実施時期】</b>7月(予定)</p> <p><b>【対象】</b>乳幼児の保護者及び育児に関心のある方</p> <p><b>【内容】</b>家庭における子育ての講座をシリーズで実施</p> <p><b>【工夫すること】</b> 保育ルームを設置したり、働いている方も参加しやすいように開催日、時間(土曜日・夜間)等を工夫する。</p> <p><b>【目標値】</b> アンケートでの満足度「とてもよかった」・「よかった」の回答が7割以上</p>	<p><b>【変更あり】</b> 子育て対象者を区分せず、「家庭教育講座」と「笑顔で子育て講座」を統合。内容についても、家庭と子どもについているんな角度から情報提供し学んでもらう企画とした。また、開催日程を土曜(午後)とした。</p> <p>(1)1/22 講話「旅館経営と私の子育て」参加者40人(うち男性12人)</p> <p>(2)2/19 パネルディスカッション 参加者33人(うち男性6人)</p>	<p><b>【評価理由】</b>アンケートによる満足度は1回目が87.8%、2回目が90.0%であり、目標値を上回った。また、参加者の2～3割が男性であった。</p> <p><b>【問題点・課題等】</b> 家庭教育に対する市民の要望を今後も分析し、関心を持って、ニーズにあったテーマの設定、公民館事業としての役割を明確化した事業内容に努める。容に努める。</p>	A			

42	保育ルームの設置	保育ルームの設置	子育て支援課	当課主催事業について、より多くの市民が講演会や講座に安心して参加できるよう、保育ルームを設置する。 【目標値】当課主催事業における保育ルーム設置率 100%	マタニティ教室については、毎回保育ルームを設置(7回設置) ファミリーサポート提供会員養成講座は、1月13日～2月17日の全6回で保育ルームを設置	【評価理由】 目標値を達成できたため 【問題点・課題等】 継続実施	A			A
			生涯学習課 (中央公民館)	家庭における子育ての講座をより多くの方から安心して受講してもらうため、保育ヘルパーの協力により、保育ルームを設置する。	家庭における子育ての講座をより多くの方から安心して受講してもらうため、保育ヘルパーの協力により、保育ルームを設置する。 (1回目)1/22:6人 (2回目)2/19:10人	【評価理由】 申込者全員の受け入れが可能であった。 【問題点・課題等】 和室での設定が適しているため、開催日の調整を早めに行う必要がある。	A			A
			市民窓口課	より多くの方が安心して参加してもらえるように、各講座、フォーラム等に保育ルームを設置する。また、各課宛に市民窓口課から保育ルームの設置の依頼を予算要求の時期に行う。	各講座や講演会等の開催時には、保育ルームの設置をしている。 また、予算要求事務を行う時期に合わせて、市民窓口課から各課宛に講座や講演会の開催に当たっては、保育ルームを設置するように文書で周知した。	【評価理由】 計画どおり実施した	A			A

課題19 家庭生活における男女共同参画の促進

No	施策	事業名	担当課等	実施計画内容	実施状況	問題点、課題等	担当課 評価	市民窓口課所見	H22年度の審議会における意見・評価	
43	子育てに関する学習の機会の提供・男女共同参画意識を高める家庭教育の推進	家庭教育講座	子育て支援課	<p><b>【実施内容】</b>                      幼児期(保育所等入所児童)、小学校就学時、中学校就学時において児童の保護者を対象に、家庭教育や家庭のあり方についての知識や課題を学ぶ講座を年1回開催する。(会場:各保育所等、各小学校、各中学校)</p> <p><b>【工夫すること】</b>                      家庭教育講座を進めるにあたり、アンケートを取るなどして、講座の満足度や男女共同参画の意識向上の度合いを確認し、内容の充実に努める。</p> <p><b>【目標値】</b>                      講座満足度:80%以上</p>	<p><b>【保育所・園での家庭教育講座】</b>21か所で実施(参加人数744人)</p> <p><b>【小学校就学時家庭教育講座】</b>全24校実施(参加人数849人)</p> <p><b>【中学校入学説明会時家庭教育講座】</b>全9校実施(参加人数661人)</p> <p>アンケート結果「とても役に立った・役に立った」割合、参加割合</p> <p><b>【保育所・園での家庭教育講座】</b>92.6%、(男8.9%、女91.1%)</p> <p><b>【小学校就学時子育て講座】</b>91.2%、(男4.0%、女96.0%)</p> <p><b>【中学校入学説明会時家庭教育講座】</b>92.9%、(男4.0%、女96.0%)</p>	<p><b>【評価の理由】</b>                      目標値を大きく上回って達成できたため                      目標値の結果:                      92.2%(平均)</p> <p><b>【問題点・課題等】</b>                      ・継続実施                      ・父親(男性)の参加率向上</p>	A			A
		エンジョイノパママ教室第2コース	子育て支援課	<p>施策No.41に同じ。</p> <p><b>【実施内容】</b>                      平日の夜に開催。夫婦を対象・家庭教育について外部講師による講話(妊娠中の家庭における男女共同参画について)                      ・保健師による手続き等の情報提供</p> <p><b>【工夫すること】</b>                      昨年に比べ、外部講師による家庭教育に関する講話の配分を多くし充実を図った。</p>	施策No.41に同じ。	施策No.41に同じ。	B			B

		家庭教育講座	生涯学習課 (中央公民館)	施策No.41に同じ。	施策No.41に同じ。	施策No.41に同じ。	A			A
		笑顔で子育て講座の実施	生涯学習課 (中央公民館)	施策No.41に同じ。	施策No.41に同じ。	施策No.41に同じ。	A			A
44	男性の家事、子育て、介護等の学習機会の提供	エンジョイパパママ教室第1コース・第2コース	子育て支援課	施策No.41に同じ。	施策No.41に同じ。	施策No.41に同じ。	B			B
		認知症サポーター等養成事業	高齢介護課	<p><b>【実施時期】</b>平成22年4月～平成23年3月</p> <p><b>【内容】</b>認知症サポーター養成講座の実施</p> <p>・講師:キャラバン・メイト</p> <p><b>【工夫すること】</b>講座において、男女問わず認知症の人やその家族の気持ちを理解し、地域で支える必要があるということを伝える。</p> <p><b>【目標値】</b>平成22年度サポーター数450人</p>	<p>知症サポーター養成講座の実施</p> <p>講師:キャラバン・メイト</p> <p><b>【参考】</b>平成22年度(3月末現在)</p> <p>実施回数:34回</p> <p>受講者数(サポーター数):女性598人、男性409人計1,007人</p>	<p><b>【評価理由】</b>男女問わず、講座を通じて徐々に認知症への理解が広がってきている。</p> <p><b>【問題点・課題等】</b>今後、さらに学校や企業への働きかけを積極的に行っていきたい。</p>	A			A
		男の料理教室	健康づくり課	<p><b>【実施時期】</b>6月2日:第三中学校区※2回目については年度末検討中 10月23日、11月13日:第一中学校区</p> <p>※食生活改善推進委員主催の事業の支援を行う。</p> <p><b>【工夫するところ】</b>周知について広報掲載、チラシ配布などの支援を行う。</p> <p><b>【目標値】</b>各回参加者15人を旨す</p>	<p>・第三中学校区(6月2日実施:14人参加、12月16日実施:11人参加)</p> <p>・第一中学校区(10月23日実施:13人参加、11月13日実施:11人参加)</p> <p>※教室案内送付、献立検討について職員協力</p>	<p><b>【評価理由】</b>目標は8割達成であった。参加者の様子から調理を家庭でも実践しているという声が聞かれた。</p> <p><b>【問題点・課題等】</b>家庭で調理を実践しているか等アンケート調査の実施を検討する。</p>	A			A



44	男性の家事、子育て、介護等の学習機会の提供	男の料理教室	生涯学習課 (井栗公民館)	<p>【実施時期】平成22年5月～平成22年12月</p> <p>【実施対象】井栗地区の男性</p> <p>【内容】家庭の中で、家事等に参加できるように基本的な料理の基礎知識・技術の習得を図る。</p> <p>【定員】10人</p> <p>【工夫するところ】ご飯を炊いたり、だしを取るといった基本的なことや、片付け洗い物などを皆さんと無理なくやれるようにする。</p> <p>【目標値】アンケート満足度で「大変よかった」「よかった」の回答が7割以上</p>	<p>実施時期:平成22年5月～平成22年12月</p> <p>実施内容:・5月 ご飯の炊き方、スープ等 参加者:7人</p> <p>・6月 肉じゃが等 参加者:8人</p> <p>・7月 鮭の甘味噌煮等 参加者:6人</p> <p>・9月 豚肉の角煮等 参加者:7人</p> <p>・10月 栗とあずきのおこわ等 参加者:5人</p> <p>・11月 鮭のムニエルチーズ焼きマリネ等 参加者:5人</p> <p>・12月 鯛缶と大根のべっこう煮等 参加者:6人</p>	<p>【評価理由】満足度調査で大変良かったとの回答が10割だった。</p> <p>【問題点・課題等】レベルアップできるような内容を考えていくことが必要と思う。</p>	A			A
		男の料理教室	生涯学習課 (大崎公民館)	<p>【実施時期】平成22年5月～平成23年2月</p> <p>【実施対象】大崎・保内地区の男性</p> <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・男性も家庭の中で、楽しみながら家事等に参加できるように基本的な料理の基礎知識・技術の習得を図る。</li> <li>・定員15人</li> </ul> <p>【工夫するところ】ご飯を炊く、だしを取るといった基本的なことから、片付け洗い物など普段手を出さなかったことまで皆さんと無理なくやれるようにする。</p> <p>【目標値】アンケート満足度で「大変よかった」「よかった」の回答が7割以上</p>	<p>実施時期:平成22年5月～平成23年2月</p> <p>受講生数:15人</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・5月:基本だしの取り方、肉じゃが 参加人数:14人</li> <li>・6月:卵料理と卵とじ 参加人数:13人</li> <li>・7月:缶詰を使って一工夫 参加人数:11人</li> <li>・9月:おふくろの味 秋野菜と魚料理 参加人数:12人</li> <li>・10月:加工食品を使った簡単料理 参加人数:9人</li> <li>・11月:豆腐を使ったヘルシー料理 参加人数:12人</li> <li>・12月:酒の肴アラカルト 参加人数:13人</li> <li>・1月:リクエスト特集 参加人数:14人</li> <li>・2月:太巻き作り 参加人数:11人</li> </ul>	<p>【評価理由】アンケート結果で「大変よかった」「よかった」が100%できた。</p> <p>【問題点・課題等】定員を15人に設定したが、1調理台に5人は目が行き届かないため、1調理台に4人として全体で12人に設定し、受講生間の交流が深まるような内容を検討しながら計画していく。</p>	A			A

44	男性の家事、子育て、介護等の学習機会の提供	男の料理入門教室	生涯学習課 (本成寺公民館)	<p><b>【実施時期】</b>5月～7月  <b>【実施対象】</b>本成寺地区の成人男性で、料理初心者の方  <b>【内容】</b>  ・本成寺地区の男性が料理の基礎技術を習得し、家庭での炊事に参加する意欲を引き出すことを目的に開催。  ・全6回シリーズ、定員12人(最低開講人数6人)  ・参加費9000円(材料費込、前納制)  <b>【工夫するところ】</b>  「包丁の持ち方」「米の研ぎ方」など基礎の基礎から教えることを謳い、初心者でも安心して受講できるようにする。  <b>【目標値】</b>  満足度・達成度ともに90%</p>	<p><b>【変更あり】</b>  申込者寡少のため開催中止</p>	<p><b>【評価理由】</b>  ・講料全6回分(計9,000円)を前納で徴収することとしたが、このために「高額」の講座と感じられ、参加者に敬遠されたようである。  <b>【問題点・課題等】</b>  受講料の納め方を検討する。  ・対象の年代を限定するなどして、年代ギャップを軽減し、若年者・高齢者ともに参加しやすいようにする。</p>	D	参加者を増やす様、引き続き努力いただきたい。	D
		男性応援講座	生涯学習課 (大島公民館)	<p><b>【実施時期】</b>5月～9月  <b>【実施対象】</b>50歳以上の男性  <b>【内容】</b>中高年の男性を対象に、日常生活の中で役立つ情報、知識を身に付け、人生がより豊かになるよう、健康体操、お菓子作り、市内のもの作り体験、資産作りのヒント、料理実習の5項目を計画  <b>【会場】</b>大島公民館  <b>【定員】</b>15人  <b>【工夫すること】</b>  広報さんじょうにも掲載し、周知について努力する。  <b>【目標値】</b>  満足度、達成度が(5段階評価)4.5が70%以上</p>	<p><b>【変更あり】</b>申込者が少なかったため、開催中止</p>	<p><b>【評価理由】</b>開催日が、平日の午前中だったこと、様々な内容だったことなどの要因で、参加者が集まらなかったことと思われる。  <b>【問題点・課題】</b>  ・開催日時  ・適切な内容</p>	D	参加者を増やす様、引き続き努力いただきたい。	D

44	男性の家事、子育て、介護等の学習機会の提供	男の料理教室	生涯学習課 (下田公民館)	<p>【実施時期】平成22年6月～12月 3回</p> <p>【実施対象】下田地区在住の男性</p> <p>【内容】男性も家庭の中で、楽しみながら家事等に参加できるように簡単な料理の基礎を学ぶ。</p> <p>【定員】10人</p> <p>【工夫するところ】基本的な料理作りから家庭の中で出来ることを見つけ、無理なく続けるようにする。</p> <p>【目標値】アンケート満足度で「大変よかった」「よかった」の回答が7割以上</p>	<p>【変更あり】実施時期変更:11月10日、24日、12月8日 募集開始:10月</p> <p>希望者が3名だったため、事業を中止した。</p>		D		参加者を増やす様、引き続き努力いただきたい。	D
		【追加】 男の料理教室	【追加】 栄公民館	<p>【追加】</p> <p>【実施時期】1月</p> <p>【対象】栄地区に在住・在勤の20歳以上の方</p> <p>【内容】栄地区の男性が料理の基礎的な技術を習得し、家庭での料理に参加する機会を促進することを目的に開催。全2回シリーズ、定員20人 参加費1回800円(材料費)</p> <p>【工夫すること】包丁や調理機器の使い方などの基本的なことや、地元の食材を使って調理する。 作った料理を持ち帰り、家族と一緒に食べる今後の料理作りの参考としてもらう。</p> <p>【目標値】満足度・達成度ともに80%</p>	<p>受講生:12人 1/20 あじの梅しそ巻き揚げ、だし巻き卵、筑前煮 参加者:10人</p> <p>1/27 イカの塩辛、車麩の揚げ、レンコンのきんぴら 参加者:10人</p>	<p>【評価理由】満足度・達成度が80%以上であった。</p> <p>【問題点・課題等】参加者が、定員の60%だったため広報を工夫し定員に近づけたい。</p>		A		参加者を増やす様、引き続き努力いただきたい。

44		絵本&おてて絵本よみまショー	市民窓口課	<p>【実施時期】9月11日(土)</p> <p>【会場】栄保健センター</p> <p>【対象】幼稚園から小学生のお子さんをお持ちの親子</p> <p>【講師】絵本作家 サトシン さん</p> <p>【内容】両手を本にみたくて「おてて絵本」の創始者サトシンさんのお話や絵本の読み聞かせを通じて、育児参加への導入を図る。</p> <p>【目標値】定員50組の達成</p>	計画のとおり実施 参加者:65名(男性12名、女性22名、子ども31名) アンケート結果:「大変よかった、良かった」100%	<p>【評価理由】目標値は達成したが、父親の参加が10名と少なかつたため、AではなくBとした。</p> <p>【問題点・課題等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・予算内での講師の選定</li> <li>・集客方法やPR方法</li> </ul>	B			B
		【追加】男女共同参画審議会コラボ・プロジェクト 勇人パパと絵本を楽しもう	市民窓口課	<p>【開始時期】平成22年8月16日</p> <p>【内容】市長が自身の子ども達へ絵本の読み聞かせをすることで、期間限定の育児を一層楽しむとともに母親の育児軽減、ワークライフバランスの確立を目指す</p>	計画どおり実施	<p>【問題点・課題等】</p> <p>引き続きHPなどで広く広報していきたい。</p> <p>来年度の事業と繋げ、広くPRしていきたい。</p>	A			A
	男性の家事、子育て、介護等の学習機会の提供	パパ、遊ぼう	市民窓口課	<p>【実施時期】9月18日(土)</p> <p>【会場】総合福祉センター</p> <p>【対象】幼稚園から小学生のお子さんをお持ちの親子</p> <p>【内容】フランスの積み木カプラを使い、親子で一つのものを作り、壊すという体験を通じ、一緒に遊ぶ楽しさを体験してもらうことで、育児参加を図る</p> <p>【目標値】定員20組の達成。</p>	計画通りに実施 参加者数:9組30名(内父親8名、母親、8名、子ども14名) アンケート集計:大変良かった、良かったが100%	<p>【評価理由】参加者には、好評だったが、参加者が定員に満たなかつたため、Bとした。</p> <p>【問題点・課題等】</p> <p>今年は、ひとひとフォーラムに合わせて、日曜午後に開催したが、アンケートをみると、土曜日午前に実施希望の声があつたので、検討してみたい。</p>	B			B
	ひとひとフォーラムの実施		No.19と同じ	No.19と同じ	No.19と同じ	B			B	